

FFGの法人分野における SDGsの取組み

～「Sustainable Scale Index」 記者会見開催～

2021年10月の
記事はこちら



2021年10月5日、法人のお客さま向けSDGsの取組みであるSDGsスコアリングモデルサービス「Sustainable Scale Index」の取扱開始における記者会見を実施しました。当日は、「サステナブルスケール」取締役を務める九州大学馬奈木俊介主幹教授に同席いただきました。

会見では、まず五島取締役執行役員からFFGがSDGsに取組む意義を大きく3点説明しました。1つ目は、FFGにおけるサステナビリティの考え方です。FFGでは「地域経済発展への貢献」「FFGの企業価値向上」の好循環サイクル創出を「サステナビリティ方針」として掲げており、各企業の本業を強く成長させることで、結果、社会課題解決に繋がるという考えがあります。2つ目は、SDGsスコアリングモデルサービス「Sustainable Scale Index」(以下、本サービス)の位置付けです。SDGsは「どこから手をつけていいかわからない・自社の事業活動がSDGsとどう結びつくかわからない」といった具体的課題を抱えている企業が多く、導入ツールとして利用いただく本サービ

スを提供するに至りました。3つ目は、課題解決としての本サービスの活用です。単に評価スコアを出すにとどまらず、評価実施の先にある①評価結果による銀行との対話②お客様のSDGsの取組み支援③目標設定と経営計画への導入が重要であること、をお伝えしました。

本サービスを起点とし、お取引先との対話を増やし、より深いビジネスへの理解を行うことで、SDGsに向けた取組、本業支援に繋げてまいります。



左から馬奈木主幹教授、藤善社長、五島取締役執行役員



FFGのSDGsの取組について説明を行う五島取締役執行役員

2021年11月15日取扱い開始予定

“Sustainable Scale Index”について

SDGs／ESGスコアリングサービス“Sustainable Scale Index”は、九州大学と共同開発した約200項目の評価データに基づき、企業の相対的なSDGs／ESGに関連する取り組みを「SDGsの17ゴール」と「ESGの10カテゴリー」に沿って指標化します。

ベンチマークとする業界トップ企業や中央値とのスコア比較を通じ、企業のSDGs／ESG取組みにおける客観的な強み・弱みの把握を可能とするとともに、評価項目を個別に深堀りすることで、今後の取組みのヒント（示唆）を得ることができます。



次に、藤善社長（兼福岡銀行執行役員）から「SDGsの新しいモノサシ」となる第一弾の取組「Sustainable Scale Index」の概要について紹介しました。具体的には、本サービスの評価書は①SDGs・ESGに関する質問事項で組成②他社との相対的な比較が可能③サステナビリティ活動に関する業界動向

や事例を提供、以上3つの特徴を持つことを説明しました。その上で、銀行の法人担当者が決算書と一緒に「Sustainable Scale Index」を持って営業活動できるような体制を目指していくと伝えました。本サービスを長期的に活用することで、F・F・Gは企業の持続可能な成長をサポートしてまいります。



九州大学馬奈木主幹教授

「サステナブルスケール」馬奈木主幹教授 ～ Sustainable Scale Index についてのポイント～

- ①九州大学とFFGという違う立場の2社が共同開発した点。
- ②ESG指標は世の中に多くあるが、外部機関による診断が大半であるのに対し、自社内で取組を確認して、回答する新しい仕組みである点。
- ③企業が地域にどう関わっているかという視点を取入れたSDGsスコアを設けている点。
- ④企業の財務情報では表われない非財務情報を見える化する「Sustainable Scale Index」を活用し、非財務指標を向上させる取組を行うことで、財務指標の長期的な向上に繋がられる点。

SDGs取組みの評価・分析を通じて、サステナビリティ活動をサポート

Sustainable Scale Index

2021年11月15日取扱い開始予定

■SDGsとは

『持続可能な開発目標』(Sustainable Development Goals)の略称で、2015年9月に国連で採択された国際目標です。17の目標と、その目標を具体的にした169のターゲットからなり、国連に加盟する全ての国が、2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和社会など、幅広い課題の解決を目指しています。





まずはSDGsについて、必要性を認識し、理解することが重要です

理解するといっても何をしたら良いかわからない



FFG がお手伝いします！

Sustainable Scale Indexについて

Sustainable Scale Indexは、約200の評価項目に回答することで、**回答した企業のSDGsに関連する取組みを指標化**します。類似同業者との相対評価で、回答した企業の立ち位置を把握することができます。

FFGが本サービスに取組む意義

POINT 1 地域のみなさまに活用いただける指標の提供

非上場企業のESG/SDGsの取組みを指標化したデータは少ない

対して

世の中には、上場企業のESG/SDGsの取組みを指標化したデータは多い

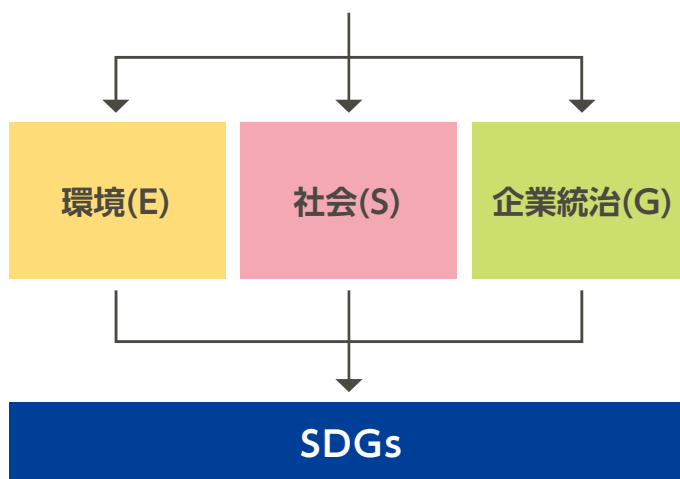
地域企業と幅広くお取引いただくFFGが本モデルを構築し、多くの地域企業が活用することで、企業のESG/SDGsの活動を指標化し、地域のESG/SDGsの取組みに貢献できる

POINT 2 九州大学との協業による独自の評価システムの構築

2021年4月1日にFFGが設立したSDGs支援子会社「(株)サステナブルスケール」は、国連の「新国富報告書」の代表を務める九州大学主幹教授の馬奈木俊介氏を取締役に迎え、SDGs評価における新しい“ものさし”を創り、SDGsの取組みを適切に評価・発信し、地域社会の健全な成長に貢献することを目指します。



約200の評価項目(九州大学と協業)



受け取った評価書を基に、自社の事業をSDGs目線で棚卸し。

企業理念や自社事業をSDGs起点でマッピングし、自社の強み・弱みを把握。優先課題を設定！

既存事業のブラッシュアップや新規事業への取組みを検討する。

SDGs取組みの本格始動